■増進会自然環境保全研究活動助成基金の助成実績

研究の題名	申請者氏名	所属機関名
●1991年度		
・ミヤジマトンボの保護・増殖に関する調査研究	澤野十藏	広島虫の会
・キイロホソゴミムシの生息環境と生活史に関する研究	宮野伸也	千葉県立中央博物館
・リュウキュウアユの保全と復元に関する基礎研究	諸喜田茂充	琉球大学
・ホクリクサンショウウオ等の保護に関する基礎的研究	南部久男	富山市科学文化センター
・小笠原諸島の固有陸産貝類の保全に関する研究	富山清升	東京都立大学
・ネコギギの分布および生息環境調査	渡辺勝敏	東京水産大学
●1992年度		
・ハハジマメグロの繁殖生態に関する基礎的研究	上田恵介	立教大学
・藤枝市藪田川・磐田市桶ケ谷沼におけるカワバタモロコの生息環境保全と復元に関する研究	金川直幸	静岡県立静岡南高等学校
・赤城山のヒメギフチョウの保護・増殖に関する基礎研究	富樫裕	群馬大学
・ヒヌマイトトンボの生息環境に関する調査研究	廣瀬誠	水戸市立緑岡小学校
・カワムラナベブタムシの棲息状況と生活史に関する研究	佐藤正孝	名古屋女子大学家政学部
●1993年度		
・ヤンバルクイナの保護・増殖に関する基礎的研究	原戸鉄二郎	本部町立本部中学校
・沖縄島北部地域に生息するイシカワガエル等の生息環境保全に関する基礎的研究	当山昌直	浦添高等学校
・ヒヌマイトトンボの生息状況と分布に関する研究	宮武頼夫	大阪市立自然史博物館
・ヤシャゲンゴロウの生活史と生息地保護に関する基礎的研究	佐々治寛之	福井大学教育学部
●1994年度		
・イボイモリの保護・増殖に関する基礎的研究	田中聡	沖縄県立本部高等学校
・大分県安岐町・安岐川におけるアカザの生息状況に関する調査研究	星野和夫	(株)マリーン・パレス(大分生態水族館)飼育部
・シャープゲンゴロウモドキの生息状況に関する研究	湯浅純孝	富山県生活環境部自然保護課
・ハチジョウキセルガイモドキの生息状況と生息環境に関する研究	黒住耐二	千葉県立中央博物館
●1995年度		
・ヤエヤマカグラコウモリの繁殖生態に関する基礎的研究	松村澄子	山口大学医療技術短期大学部
・アリアケギバチの繁殖生態に関する基礎研究	溝入真治	長崎大学大学院海洋生産科学研究科
・ミズグモの生活史と生息環境に関する研究	吉田真	立命館大学理工学部
・キリクチ(イワナ)の生息環境・保護に関する基礎的研究	名越誠	奈良女子大学
・カラカネイトトンボの生息環境と生態に関する研究	大澤尚之	高輪高等学校・中学校

研究の題名	申請者氏名	所属機関名
●1996年度		
・ダイトウオオコウモリの保護に関わる調査研究	伊青勝	南大東村立南大東中学校
・降河回遊型魚類類ヤマノカミとカマキリの繁殖、成育生態に関する研究	鬼倉徳雄	九州大学農学部附属水産実験所
・アカメの生息・環境実態調査及び人工増殖に関する基礎的研究	岩槻幸雄	宮崎大学農学部
・シオアメンボの生息状況に関する研究	林正美	埼玉大学教育学部
・隠岐島産ルーミスシジミの生息状況に関する調査研究	淀江賢一郎	山陰むしの会
●1997年度		
・ウケクチウグイの繁殖生態、生活史の調査研究	酒井治己	水産大学校
・ヒョウモンモドキとその生息場所の保護に関する調査研究	石井実	大阪府立大学農学部
・小笠原諸島における固有トンボ類の生息状況と保全に関する研究	苅部治紀	神奈川県立生命の星・地球博物館
●1998年度		
・ミヤコタナゴの増殖に関する基礎的研究	秋山信彦	東海大学海洋学部水産学科
・オオイタサンショウウオの保護に関する基礎的研究	道越祐一	宮崎大学大学院大学院
・アベサンショウウオの生息状況に関する調査研究	松井正文	京都大学大学院人間・環境学研究科
・静岡県におけるイドミミズハゼ類の分布と生息環境調査	金川直幸	静岡県立静岡南高等学校
・シナイモツゴの生息環境に関する研究	佐原雄二	弘前大学農学生命科学部
●1999年度		
・クビワコウモリの保護・増殖に関する調査研究	山本輝正	岐阜県立八百津高等学校
・ヒヌマイトトンボ の生息地創設に関する基礎的研究	渡辺守	三重大学教育学部
・イバラトミヨ（雄物型）の生息する湧泉・水路に関する研究	神宮字寛	秋田県立大学短期大学部
・越冬期のトモエガモの個体数変動と採食環境に関する調査研究	桑原和之	千葉県立中央博物館
・クロイワトカゲモドキ亜種の生息状況と生息環境に関する調査研究	太田英利	琉球大学熱帯生物圏研究センター
●2000年度		
・希少猛禽類オガサワラノスリの生態に関する基礎研究	加藤夕佳	東京都立大学大学院理学研究科
・神奈川県で発見されたキイロホソゴミムシの生息状況と保護に関する研究	苅部治紀	神奈川県立生命の星・地球博物館
・長野県におけるダルマガエルの分布と生息環境に関する研究	澤畠拓夫	岐阜大学大学院連合農学研究科生物資源科学専攻博士課程
・南西諸島におけるタウナギの分布および生息環境調査	松本清二	橿原市立畝傍中学校
・イトヨの生活史における個体群間変異の生態学的研究	森誠一	岐阜経済大学生物学

研究の題名	申請者氏名	所属機関名
●2001年度		
・神奈川県で発見されたイトアメンボの生息状況と保護に関する研究	守屋博文	相模原市立博物館
・タガメの保護に関する生態調査	平井利明	京都大学総合人間学部
・夕張・芦別岳のナキウサギの個体群の調査	小島望	岩手大学大学院連合農学研究科博士課程
・琉球列島産サワガニ類の分類と生息環境に関する研究	成瀬貫	琉球大学理工学研究科博士課程
・八重山諸島西表島における絶滅のおそれのある汽水・淡水魚類の生息状況と保護に必要な対策に関する調査研究	鈴木寿之	兵庫県立尼崎北高等学校
●2002年度		
・ゴイシツバメシジミの生息状況と食餌植物の増殖に関する研究	杉本美華	九州大学大学院比較社会文化研究科博士課程
・山形県産イバラトミヨ雄物型の絶滅回避にむけた保護・増殖に関する調査研究	高橋洋	独立行政法人水産大学校
・奄美大島産キバラヨシノボリの生態学的研究	笹邊幸藏	鹿児島大学大学院水産学研究科
・日本産テナガエビ類の初期生活史に関する研究	伊藤茜	琉球大学理工学研究科博士前期課程
・タガメの繁殖生態に関する基礎的研究	大庭伸也	愛媛大学農学部附属農場修士課程
●2003年度		
・九州におけるオオミノガの生息状況に関する研究	一木良子	九州大学大学院農学研究院生物保護管理学講座
・絶滅危惧種オガサワラヨシノボリの系統保存に関する研究	横井謙一	近畿大学大学院農学研究科
・東京湾の希少ハゼ科魚類の分布及び生息環境調査	高麗行武	東京水産大学博士課程
・南部伊豆諸島において絶滅のおそれのある地域個体群と指定されたオカダトカゲの保全生態学的研究	長谷川雅美	東邦大学理学部
・長野県におけるホンドモモンガの生息状況および行動域の季節変化	市川哲生	岐阜大学大学院連合農学研究科博士課程
●2004年度		
・沖縄島産シオマネキ個体群の絶滅回避に必要な保全遺伝学的研究	今井秀行	琉球大学理学部海洋自然科学科
・絶滅危惧種ミヤマシジミの保全に関する基礎的研究～特にアリ類との共生関係から～	渡邊通人	河口湖フィールドセンター自然共生研究室
・日本産チョウ類地域個体群保全のための生態学的特性および保全の実現可能性に関する基礎研究～ウスイロヒョウモンモドキおよびタイワンツバメシジミにおけるケーススタディ～	中村康弘	日本チョウ類保全ネットワーク
・絶滅のおそれのある広島県産ダルマガエル（岡山種族）の保護に関する研究	内藤順一	広島県立安古市高等学校
・農業用水路におけるスナヤツメの生息環境に関する研究	中川雅博	近畿大学農学部水産生物学研究室
●2005年度		
・絶滅危惧種ヤンバルテナガコガネの保護・増殖に関する基礎研究	荒谷邦雄	九州大学大学院比較社会文化研究院
・北海道豊似湖に生息する絶滅危惧種ニホンザリガニの保護に関する基礎的研究	中田和義	北海道大学大学院水産科学院
・イワサキセダカヘビの食性と人里環境への適応に関する研究	細将貴	京都大学大学院理学研究科
・ライチョウの感染症制御に関する基礎獣医学的研究	山口剛士	岐阜大学応用生物科学部
・個体識別したメダカの水田と水路の利用実態に関する研究	東淳樹	岩手大学農学部

研究の題名	申請者氏名	所属機関名
●2006年度		
・奄美大島における天然記念物イシカワガエルの保全生態学的研究	加賀谷隆	東京大学大学院農学生命科学研究科
・ウミガメ類（タイマイ・アオウミガメ）放流事業に関する適正な放流時期の解明	奥山隼一	京都大学情報学研究科博士後期課程
・シャープゲンゴロウモドキの生息地再生による保全に関する研究	西原昇吾	東京大学保全生態学研究室博士課程
・兵庫県におけるオオサンショウウオの生息適地の推定と保全計画への適用	田口勇輝	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科博士課程
・沖縄県における赤土等流出防止によるリュウキュウアユの生息環境の保全に関する研究	桜井国俊	沖縄大学
●2007年度		
・水田地帯に生息するメダカの生息環境の違いが成長へ与える影響について	渡部憲吾	岩手大学大学院農学研究科修士課程
・南西諸島における絶滅危惧水生甲虫の現状調査と保全策の研究	北野忠	東海大学教養学部人間環境学科
・北海道におけるカワシンジュガイの生息環境保全に関する研究	長坂晶子	北海道立林業試験場
・ハッタミミズの生息現況調査及び生息環境保全に関する研究	伊藤雅道	横浜国立大学大学院環境情報研究院
●2008年度		
・絶滅危惧固有種オヨギカタビロアメンボの個体群保護と増殖に関する研究	中尾史郎	京都府立大学大学院生命環境科学研究科
・トウキョウトガリネズミの分布と食性に関わる基礎研究	南波興之	北海道大学環境科学院博士課程
・ダイトウオオコモリの育仔期における環境利用特性に関する研究	佐藤亜希子	琉球大学大学院理工学研究科海洋自然科学専攻博士前期課程
・コアジサシ卵のカラスによる捕食を防ぐための基礎的研究	早川雅晴	船橋市立舟橋高等学校
・岐阜県におけるカスミサンショウウオの保護に関する研究	高木雅紀	岐阜県立岐阜高等学校
・堅田内湖に生息する琵琶湖固有魚種ワタカの繁殖生態の解明	鈴木誉士	近畿大学農学部水産増殖学研究室
●2009年度		
・長野県安曇野におけるオオルリシジミの保護と増殖に関する研究	江田慧子	信州大学大学院農学研究科（AFC昆虫生態学研究室所属）修士課程
・カワシンジュガイ類幼生の外来サケ科魚類への寄生実験	小林収	長野県長野西高等学校
・イヌワシの保全を目指した採餌環境の創出計画の立案	石間妙子	新潟大学大学院自然科学研究科博士後期課程
・オオダイガハラサンショウウオ九州個体群およびベッコウサンショウウオの分類学的研究	西川完途	京都大学大学院人間・環境学研究科
・九州におけるｲﾁﾓﾝｼﾞﾀﾅｺﾞ・ﾜﾀｶ・ﾊｽの定着ﾊﾟﾀｰﾝ～希少種・国内外来種の両面を持つ魚類についての研究～	大畑剛史	九州大学水産実験所博士前期課程
●2010年度		
・京都府におけるヒヌマイトトンボの保全を目的とした人工増殖法に関する研究	高橋純一	京都産業大学総合生命科学部
・シオカワヨコエビの保護・増殖に関する基礎的研究	富川光	広島大学大学院教育学研究科
・タナゴの生活史と環境利用に関する基礎的研究	満尾世志人	東京農工大学農学部
・ヒナイシドジョウによる河床間隙域の利用実態に関する研究	川西亮太	愛媛大学大学院理工学研究科博士後期課程
・ブッポウソウ（Eurystomus orientalis）の繁殖生活史に関する研究	水野聖子	岡山大学大学院自然科学研究科

研究の題名	申請者氏名	所属機関名
●2011年度		
・ルイスハンミョウの保護及び生息環境保全のための研究	渡辺雅子	阿南工業高等専門学校環境研究部門
・イスミナガゴミムシの保全に関する基礎研究	笹川幸治	東京大学大学院総合文化研究科
・棚田復元ビオトープにおけるシャープゲンゴロウモドキの生態および生息地保全に関する研究	田中里奈	新潟大学大学院自然科学研究科大学院前期課程
・小型コウモリ類の分布を規定する要因の解明－過去の土地利用の影響を把握する－	山中聡	北海道大学大学院農学研究院修士課程
・沖縄島におけるマサゴハゼの保護に関する基礎的研究	西丸裕敏	琉球大学理学部海洋自然科
●2012年度		
・外来捕食者によるオオヒョウタンゴミムシへの影響の評価と対策	髙木俊	東邦大学
・ミヤコサワガニの繁殖生態および外来生物による被食の実態の解明	藤田喜久	琉球大学大学教育センター
・九州北部におけるニッポンバラタナゴの積極的保全・保護に向けた条件検討	川本朋慶	九州大学大学院農学研究院
・クロイワトカゲモドキ沖縄島亜種の分類学的研究	栗田隆気	琉球大学理工学研究科博士後期課程
・生息環境の保全に向けた繁殖期のクマゲラ生息調査手法に関する研究	雲野明	（地独）北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場
●2013年度		
・トカラ列島北部において絶滅のおそれのあるトカゲ属集団の保全遺伝学的研究	栗田和紀	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻動物学教室動物系統学研究室
・希少猛禽類チュウヒの生息地保全に向けた農地利用実態の解明	高橋佑亮	岩手大学農学部
・コガタカワシンジュガイ（*Margaritifera togakushiensis*）個体群の系統地理と保全に関する研	竹内基	岩手県立種市高等学校
・遺伝子汚染を免れた琵琶湖産イケチョウガイ隔離個体群の保護に関する基礎的研究	白井亮久	武蔵高等学校中学校生物科
●2014年度		
・PITタグを用いた小河川におけるギバチ（*Pseudobagrus tokiensis*）の利用環境の解明	森晃	宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団
・オコジョのハビタット選択と餌資源の地上営巣鳥類巣に関する研究	森本元	山階鳥類研究所自然誌研究室
・奄美大島及び徳之島における絶滅危惧種アマミハナサキガエルの保全生態学的研究	小峰浩隆	東京農工大学農学府修士課程
・クボハゼとチクゼンハゼの生息環境保全に向けた甲殻類の巣穴利用生態の解明	邉見由美	高知大学大学院教育学専攻
●2015年度		
・北限域のニホンイシガメの保護・増殖に関する研究	小賀野大一	千葉県検見川高等学校
・福島潟で越冬するオオヒシクイの食性解明	向井喜果	新潟大学自然科学研究科博士課程
・メタゲノム解析を用いたアカハネバッタの食草および生息環境の解明	内田圭	神戸大学大学院人間発達環境学研究科
・愛媛県におけるクロヒカゲモドキの生態および生息地保全に関する研究	窪田聖一	愛蝶会

研究の題名	申請者氏名	所属機関名
●2016年度		
・ミナミアカヒレタビラ個体群の保全のためのドブガイ類増殖の試みおよび浮出稚魚の生息環境の保全に関する研究	鴛海智佳	鳥取大学大学院連合農学研究科
・琵琶湖に生息する在来型コイの採餌生態に関する研究	吉田誠	東京大学大気海洋研究所行動生態計測分野博士課程
・トウキョウダルマガエル（*Rana porosa porosa*）の生息場に影響を与える環境要因の解明と定量的評価に関する研究	中島直久	東京農工大学大学院連合農学研究科博士後期課程
・トカラ列島におけるイイジマムシクイの分布と生態に関する研究	関伸一	国立研究開発法人森林総合研究所
・カワネズミの非侵襲的遺伝子解析法の確立とマイクロサテライトマーカーの開発	関谷知裕	信州大学大学院理学工学系研究科
●2017年度		
・カワシンジュガイの生息場劣化機構の解明：水域内外の人為的影響に着目して	石山信雄	北海道大学農学研究院森林生態系管理学
・局所スケールにおけるニホンザリガニの保全遺伝学的研究	小泉逸郎	北海道大学大学院地球環境科学研究院
・リュウキュウアユの在来・導入個体群における好適生息環境の解明	河野誉仁	山口大学大学院創成科学研究科
・奄美大島におけるスミイロオヒキコウモリの生息実態の解明	浅利裕伸	帯広畜産大学
・ツシマヤマネコにおけるマイクロサテライトマーカーの開発及び生態保全に向けた応用	伊藤英之	京都大学野生動物研究センター
●2018年度		
・外来種との競合下にあるナリタヨコエビの生息微環境の研究	石川俊之	滋賀大学教育学部
・佐渡島固有種サドガエルの生態および生息環境の解明	岸本圭子	新潟大学朱鷺・自然再生学研究センター
・圃場整備により強化された「中干し」がトウキョウダルマガエル（Pelophyax porosus porosus)の生活史に及ぼす影響の解明	茂木万理菜	宇都宮大学大学院農学研究科修士課程
・慶良間諸島におけるケラマトカゲモドキの生息状況調査	栗田隆気	千葉県立中央博物館
・ヤンバルクイナの好適生息環境の解明	野澤文人	琉球大学大学院理工学研究科博士前期課程
●2019年度		
・五島列島・福江島のヒメミズスマシの保護増殖に関する研究	大庭伸也	長崎大学教育学部生物学研究室
・イタセンパラの河川間移動をストロンチウム安定同位体比により推定する	太田民久	富山大学大学院理工学研究部
・操作実験による絶滅危惧種サドガエルの越冬環境の解明	岸本圭子	新潟大学佐渡自然共生科学センター
・果樹園に生息するアカモズの生息要因に関する研究	赤松あかり	信州大学農学部
・再導入により完全に遺伝管理された島嶼隔離個体群の保全生態学研究	澤田明	北海道大学大学院理学院
●2020年度		
・マツカサガイの緊急避難生息域外保全と再導入に必要な条件の解明	松本浩司	愛媛大学附属高等学校
・環境省絶滅危惧ＩＢ類コヒョウモンモドキの生息地復元を通した豊かな産地草原環境の再生に関する調査研究	渡邊通人	特定非営利活動法人富士山自然保護センター
・大阪府豊能郡豊能町牧地区でのギフチョウの産卵環境保全の研究	石井亘	地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所
・希少草原性チョウ類の代替生息地としての放棄スキー場の評価	小池伸介	東京農工大学大学院農学研究院
・沖縄島における埋在性魚類の保全に関する生態的基礎研究～埋在性魚類を用いた干潟域の保全の検討～	宮平拓実	琉球大学理工学研究科海洋自然科学専攻
・山際周辺の水田水域を利用するトウホクサンショウウオ（*Hynobius lichenatus*）のバイオロギング調査と生息地保全策の検討	青山光生	宇都宮大学農学部農業環境工学科

研究の題名	申請者氏名	所属機関名
●2021年度		
・行動追跡と市民参加型調査によるタガメの生息地残存要因の解明	八木沢諒	宇都宮大学大学院地域創生科学研究科
・エゾナキウサギの過去からの分布変化の評価および将来の分布変化の予測	崎山智樹	北海道大学大学院環境科学院
・新たに発見された生息地におけるキタサンショウウオの生態に関する研究	保坂拓磨	帯広畜産大学大学院畜産学研究科
・リュウキュウオオコノハズクの保全を目的とした生息環境に関する研究	江指万里	北海道大学大学院理学院
・野生復帰に向けたニホンイシガメの簡便な域外保全方法の研究	小賀野大一	放送大学教養学部
●2022年度		
・ヤシャゲンゴロウの累代飼育の安定化と環境DNAによる生息密度調査手法	田子多正貴	大阪公立大学大学院農学研究科
・新潟県の信濃川水系におけるケスジドロムシの生息状況と環境選好に関する研究	岩田泰幸	公益財団法人文化財虫菌害研究所
・捕食性外来種防除事業と連動した宮古諸島の希少トカゲ類の生息実態データの収集と資料作成	安里瞳	琉球大学大学院理工学研究科
・水田のうちで繁殖するヒクイナの行動圏解析：複合的生態系の利用状況の把握	大槻恒介	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科
●2023年度		
・絶滅危惧種ミヤマシジミの再導入を再定着に導く生態学的な手法の探索	出戸秀典	東京大学
・普通種はなぜ減少したのか？：島嶼固有陸産貝類シュリケマイマイと人類活動の影響の解明	平野尚浩	琉球大学理学部海洋自然科学科生物系
・小笠原諸島の希少固有昆虫相の保護に関する研究：外来捕食者グリーンアノールを誘引する新型トラップの開発	猪森恒一朗	東京農工大学
・ニッポンバラタナゴ純系集団の系統保存の必要性を検討する：遠賀川水系における環境DNA広域調査およびタイリクバラタナゴ雑種判定	大鷲優紀	九州大学大学院生物資源環境科学府附属水産実験所
・希少種ケナガネズミの非繁殖期における休息場所の特定	菊池隼人	琉球大学理学部
・水深の変化がサドガエルの変態時の特徴に与える影響：江やビオトープを重視した保全対策の改善に向けて	髙津邦夫	新潟大学佐渡自然共生科学センター
●2024年度		
・オオイチモンジシマゲンゴロウの基礎生態の解明	山﨑駿	東京大学大学院農学生命科学研究科
・アマミマルバネクワガタの野生型共生酵母の多様性解明と累代飼育技術への応用研究	上木岳	東京大学農学部生命科学研究科
・気仙沼市　西舞根川のフレーム護岸がニホンウナギ *Anguilla japonica* の有効な生息場であるかの検証	村上弘章	東北大学大学院農学研究科生物生産科学専攻水産資源生態学分野
・アユモドキの集団絶滅を回避する：遺伝と形質に基づく最適な保全策の立案	井戸啓太	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻
・多様な農地環境におけるコウノトリの餌動物の解明	森蒼葉	公立大学法人兵庫県立大学
●2025年度		
・小笠原諸島母島固有種オガサワラコツブムシの保護・増殖に向けた生態学的・遺伝学的研究	富川光	広島大学教育学部・大学院人間社会科学研究科
・再導入を見据えたマルコガタノゲンゴロウの生息地特性と集団遺伝構造の解明	福岡太一	長崎大学大学院総合生産科学研究科
・近畿地方のアブラボテの在来分布域はどこか？：放流から守るための保全生物地理学	伊藤玄	龍谷大学生物多様性科学研究センター
・島嶼の固有亜種ダイトウコノハズクの個体群維持に外来哺乳類が与える影響の解明	金杉尚紀	北海道大学大学院理学院
・ナゴヤダルマガエルの幼生から幼体までの飼育研究と岡山県内の生息地保全のために必要な環境条件の把握	黒田聖子	学校法人ノートルダム清心学園　清心中学校・清心女子高等学校